

日本YWCAの使命(ミッション)  
イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する  
世界の人々と共に人権・平和・環境の問題に取り組む

第29総会期主題  
平和を実現する人々は幸いである一マタイによる福音書5章9節

日本YWCAビジョン2015  
(1) 非核・非暴力による平和を構築する  
・平和憲法をまもり、世界に広める  
・市民レベルで東北アジアの信頼関係を築く  
・女性と子どもの権利をまもり  
・パレスチナYWCAの活動を支援する  
(2) 若い女性のリーダーシップを養成する

# YWCA 4

APR. 2010

発行所 日本YWCA  
〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-8  
Tel. 03-3264-0661  
【四谷オフィス】  
〒160-0008 新宿区三栄町6-12 2F  
Tel. 03-5367-1872 / FAX 03-5367-1873  
E-mail. office-japan@ywca.or.jp  
編集発行人 俣野尚子  
振替 00170-7-23723 (毎月1日発行)  
定価1部 150円  
年間購読料2,200円(送料込)

www.ywca.or.jp

## 4月24日は世界YWCA日です 女性が創りだす安全な世界



1855年にイギリスに誕生したYWCAは、以来150年以上にわたり、女性と少女がリーダーシップを発揮してよりよい社会へと変革するために活動してきました。1947年からは4月24日を「世界YWCAデー」として、世界中のYWCAでこの特別な運動の歴史を祝ってきました。今年の世界YWCA日は、「女性が創りだす安全な世界」(Women Creating a Safe World)がテーマです。このテーマは、女性と少女の私的・公的領域における安全の重要性を焦点に、女性への暴力と、HIVおよびAIDSの関係性について取り組む、次期世界YWCA総会(2011年、スイス チューリッヒ)を主眼に設定されました。

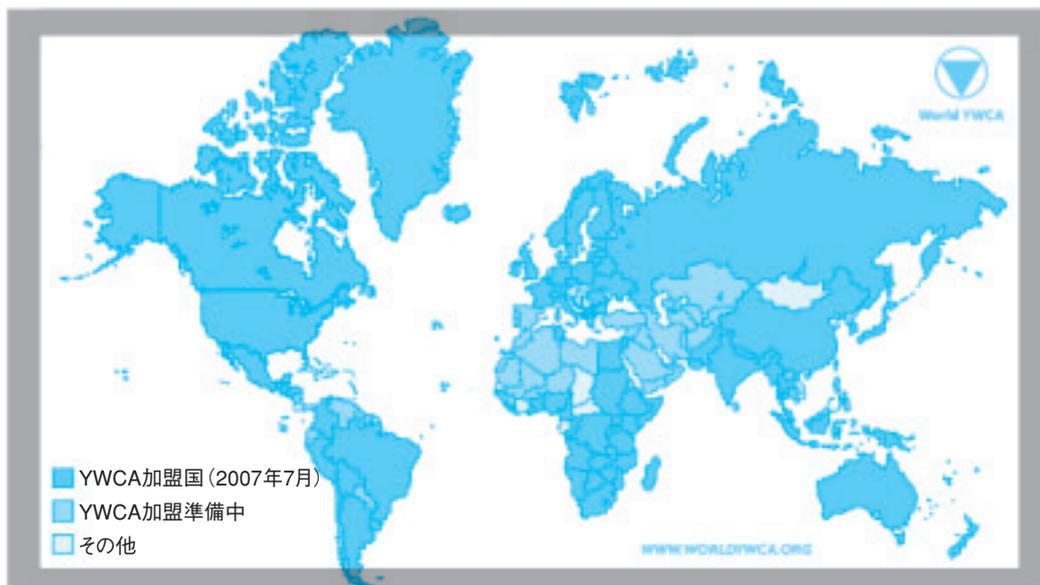
「世界YWCA日が女性一人ひとりの安全について考える日になり、それが次期世界YWCA総会へとつながっていくことをとてもうれしく思います。この問題は、今まさに、世界中の女性がさまざまな状況

において直面している時代に即した問題です」とスーザン・ブレナン世界YWCA会長(写真)は2009年の世界YWCA日に述べています。

ニャラザイ・グンボンズバンダ世界YWCA総幹事は「世界YWCAは、2011年世界YWCA総会への皆さんの参加を歓迎します。世界YWCAは、女性に対する暴力の撲滅・HIVおよびAIDSの予防・妊産婦の死亡の歯止め・性感染症の予防・若年結婚の廃止のために、そのエネルギー・知識・専門性・リソースを活用しています。さらに、若い女性のリーダーシップを活動の中心にすることで、より活発に持続可能な活動になると考えています」と語りました。

世界YWCA日朝食会は、YWCAや各地域でリーダーシップを発揮した女性を称え、絶好のファンディングの機会となります。「女性のリーダーシップに投資することは、未来に投資することでもあります」と語るの、世界YWCAファンディング・コーディネーターのリン・ソレンティノです。「リーダーシップとは、社会において何かを実現することであり、物事の進め方や見方に影響を与えることです。どんなコミュニティ・運動・組織や国家であれ、団体が変化を引き起こすために協働する集団的能力、それこそがリーダーシップなのです。世界YWCAは、どの女性にもリーダーとなる可能性と能力があると信じています」。

2010年の世界YWCA日を、安全な世界を創りだす女性たちのリーダーシップを祝い、またYWCAの働きを広く社会にアピールする機会にしましょう。(参考:世界YWCAホームページ、翻訳協力:吉田亜紀)



## どこにもいらない



又吉京子  
沖縄YWCA会員・ぎのわん  
セミナーハウス館長代行

私が生まれる前から存在していた「米軍基地」。戦争を生き残った親世代が平和の島を作らねばと願い、圧倒的権力と優位を持つ米軍に対し戦い取った平和憲法下の「日本本土復帰」。その版図の中で大人になった私たち。沖縄の社会に対する責任と、次世代の子どもたちへ責任を負う者として沖縄の現状を考えた。えつつ行動し、また考える連続の復帰38年間でした。

和の島を建設することを願っていた「米軍基地」。戦争を生き残った親世代が平和の島を作らねばと願い、圧倒的権力と優位を持つ米軍に対し戦い取った平和憲法下の「日本本土復帰」。その版図の中で大人になった私たち。沖縄の社会に対する責任と、次世代の子どもたちへ責任を負う者として沖縄の現状を考えた。えつつ行動し、また考える連続の復帰38年間でした。

この日本政府の政策を口実に多くの日本人は無関心でいられた。そして、沖縄が苦渋の選択をしたことをもって、「やっぱり沖縄は基地がないと生きていけないのだ」と言う。

普天間基地周辺に住む女性たちを中心に活動する「カマドウー(小)たちの集い」は、普天間基地の移設は沖縄の「どこにもいらない」との意思表示として「県外移設」を当事者として主張しています。それは、基地を押しつけられ続けてきた沖縄から日本人への問いかけでもあります。

「どこにもいらない」というために本土移設を検討・議論することは安保を見直すチャンスです。そのチャンスを失わないでください。

座談会

# を引き出し宝を生かして活動していきます

## 第30総会期 新運営委員座談会

昨年11月の全国会員総会で、大学生を含む6人の青年から経験豊かなベテランまで、15名の多彩な運営委員（\*）が選出されました。このメンバーで、今総会期から回数を減らすかわりに1泊2日となった運営委員会を活発に進めています。3月の運営委員会では、この3年間の活動計画案と組織＝組織図参照＝を検討し、それぞれの部署が活動しています。今号では、会長を含む4名の運営委員による座談会をお届けします。

\*会則改正に伴い、これまでの常任委員は第30総会期より運営委員という名称となりました。



吉村千恵  
(副会長・京都YWCA会員)



俣野尚子  
(会長・東京YWCA会員)

まず、第30総会期運営委員を引き受けようと思った理由を教えてください。

結果ではなく、行動を重視するという傾向だったのが、今総会期は、評価も含めた活動計画をスピード感を持って立案することができています。課題が山積している今、大事なことだと思います。

■吉村 私は前々(第28)総会期、常任委員に青年枠が設けられた時、常任委員になりました。YWCAは組織としての風通しがよく、楽しく活動をしてきました。その後フィールド調査のためタイに滞在し、昨年末に帰国したばかりなのですが、YWCAでやりたいことがたくさんあり、今回は副会長をお引き受けしました。

■俣野 私の職場は、歴史のある、高級志向の店なのですが、数年前、駅中でコンビニ・スタイルの店をスタートしたところ、よい業績を上げています。扱っている商品は他店と変わらないのですが、パッケージを変えたり、商品を小分けにしたりと、売り方を変えたところ、店の面積が狭いにもかかわらず、よい売り上げです。

■万年 大学生のときに中央委員をやりましたが、その時は何も分からず何も出来ずじまいでした。前総会期は、自分なりの専門分野を生かす形で常任委員を務めました。それは、若い頃YWCAにお世話になった恩返しという気持ちからでした。今回お引き受けしたのは、前総会期3年間常任委員をやった経験で、それをうまく引き出せていない、それを自分たちの手で引き出し、YWCAがYWCAらしく日本で活動していけたらいいなと考えたからです。

現在のYWCAを考えたとき、YWCAが持っているものが、それは地域の活動ですが、それを生かし切れていないのが今の課題だと思っています。「品物」が悪いのではなく、見せ方・伝え方を工夫し、新しい人・若い人にあつた表現、ラッピングにすることで、より伝えられるのではないかと。先輩方が築いてきた活動を、いかに伝えるかによって、地域の中で輝きを持てる存在になれたらよいと、そして今がその時だと思っています。数は多くないけれど、若い人たちが活動を担っていることも、一方活動を支えているシニアの存在も共に宝です。私は「時」を大切に思うのですが、YWCAを活性化していく上で、今が与えられたその「時」だと感じています。

■吉村 今、組織を立ち上げているところで、ビジョン展開・組織力向上・リーダーシップ養成、それぞれのことを考えながら、各部署が連携しながら、できることから確実にやっつけていきたいと思います。互いに協力して、生かし合い、皆で夢を語る場であつたらいいなと思っています。

■万年 運営委員として2期目ということもあり、同じく2期目の運営委員たちと相談しながらやっていけるのが励まされています。これまでYWCAは、

今総会期の運営委員には、YWCAのサポートを受け国際会議に出席し、さまざまな経験を積んできた方たちが多くいます。お一人もそうですが、そうした

(3面に続く)

## 第30総会期新体制スタート

日本YWCAは、地域に連なるYWCAの取り組みなしには存在しません。その取り組みが生かされ、地域においてそれぞれのYWCAが発信して下さって運動がさらに強められていくことができるような役割を日本YWCAが果たすことが必要です。また、日本YWCAは世界に連なっています。第30総会期は、この地域をつなげ、世界につながる役割をより果たすことができる組織にしました。

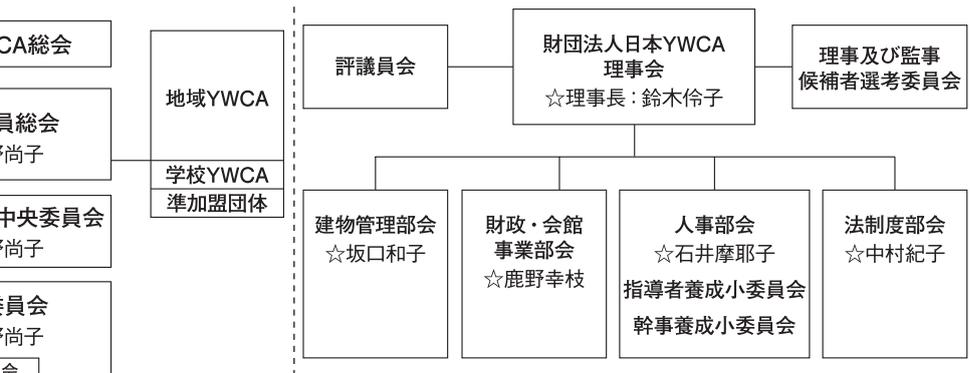
日本YWCAが目指す運動は、ビジョン2015を展開していくことです。私たちの取り組みすべてが社会貢献事業であり、ビジョン2015「①非核・非暴力による平和を構築する②若い女性のリーダーシップを養成する」を展開することです。中でも、①国際的にも発信していく役割を果たしていきたい。これを「国際事業」としてまとめました。世界YWCAとの連携を密にしながら、これまで行ってきた「ひろしまを考える旅」や「日韓ユースカンファレンス」「南京を考える旅」など、東北アジアの平和構築の歩みを確かなものにする、継続的なプログラムを、単なるプログラムとしてではなく、新しい人・若い人が関わることでできるチャンスと考え、展開していきます。

②「国内事業」として、地域YWCA支援事業を実施します。地域YWCAに新しい方が加わり、取り組みを広げるためにも、組織力の向上や担い手の研鑽が必要。そのため、「地域Y

る」を展開することです。中でも、①国際的にも発信していく役割を果たしていきたい。これを「国際事業」としてまとめました。世界YWCAとの連携を密にしながら、これまで行ってきた「ひろしまを考える旅」や「日韓ユースカンファレンス」「南京を考える旅」など、東北アジアの平和構築の歩みを確かなものにする、継続的なプログラムを、単なるプログラムとしてではなく、新しい人・若い人が関わることでできるチャンスと考え、展開していきます。

③若い人たちの手によって、YWCAを発展させ、継続していくことが大切であり、青少年育成事業を行っていきま

そして、④現在どのYWCAも、厳しい財政状況にあることを考え、効果的な「広報事業」に力を入れて、工夫した資金調達(ファンドレイジング)を試みていきたいと思います。これら四つの事業が連携して全国の活動を強めていきたいと思います。日本YWCA会長 俣野尚子



—ビジョン2015の実現をめざす—

青少年事業	広報事業	
<b>中高YWCA委員会</b> *加盟校及び地域YWCAとの連絡・調整 *顧問総会・研修会の実施 *大学YWCAの調査 ★杉村みどり、寺島順子	<b>編集委員会</b> *機関紙の編集・発行 ★実生律子、寺島順子	<b>広報&amp;ファンドレイジング委員会</b> *HPの更新 *VIの共有と徹底 *寄付獲得のためのシステム作りと実施 *寄付グッズの開発 *キャンペーンの実施 ★藤谷佐斗子、今地裕美子、大野綾子、吉村千恵

# YWCAの可能性



実生 律子 (副会長・東京YWCA会員) 万年 禮 (運営委員・神戸YWCA会員)

## 種

「あの方は、ここにはおられない。かねて言われていたとおり、復活なさったのだ」 (マタイによる福音書28章6節)

キリスト教学校の中学生と一緒に授業で「復活」を学ぶ機会があります。聖書を読み内容を確認すると、生徒たちが「信じられない」という反応を示します。確かに、気持ちにはわかりません。私たちの学校は教会が建てた学校で、その教会の人々というのはイエス様の復活を信じた人たちだから、イエス様の復活がなければ私たちの学校もなかったかもしれない、不思議だね。その後、感想を書いてもらうと、荒唐無稽な話だと思っていたイエス様の復活が、私たちにも関係があるのだと知って驚いたというコメントがあつたりします。 YWCAがキリスト教を基盤に活動しているということは、キリスト教の核となる「復活」のゆるゆるとした新しいのちを基盤にしていることなると思つたのです。学校のYWCA部の顧問としてカンファレンスや「ひろしまを考える旅」に参加し、貴重な経験や出会いを与えられる中で、YWCAの基盤に「復活」があることを確認できるように経験をさせていたで、感謝しています。

六戸 尚子 (山梨英和中学校高校聖書科教諭・YWCA部顧問)

経験をどうとらえ、生かしていますか?

■万年 私がYWCAのサポートを受けたのは、学生時代にノルウエーのスタバンガーで開催された世界総会に出席したときです。派遣費用補助以上に、出席しことで多くのものを得ました。また、私の学生時代は、大阪・京都・神戸の青年たちが、これといった用事も無いのによく出合い、互いに力づけられました。「この人たちと一緒にやりたい」という思いを抱きました。今思えば、それがYWCAのかわりにおける第一段階でした。第二段階は、「ひろしまを考える旅」や沖繩を訪ね、その際シアの「おばさま」たちと出会いました。こわかった(笑)。でも第三段階で、日本YWCAの委員や全国集会実行委員を引き受け、そのとき、最初こわかった「おばさま」たちに支えられ、1991年YWG(International Youth Gathering)を開催することができました。去年、YWCAアジア・太平洋地域トレーニング会議(RTI)へ参加したときは、以前は自分の中で消化していたけれど、今度はここで得たものを

組織の中で展開していきたいと考えました。

■吉村 2001年に横浜で開催された第2回「子ども商業的搾取に反対する世界会議」に、熊本YWCAからサポートを受け、熊本の10人くらいの青年と一緒に出席した際、横浜YWCAの会員さんたちがホームステイで受け入れてくれました。思えば、いつもシアの方たちから支えてもらってききました。

また同じ年、日本YWCAからの派遣で、タイで開催されたYWCAアジア・太平洋地域会議に参加しました。当時、日本軍「慰安婦」をはじめ歴史を歪曲した日本の教科書記述が国際的に問題になっており、会議の席上、韓国YWCAから日本政府への抗議声明提出が呼びかけられ、日韓YWCAの参加者が協議しました。その時の厳しいやりとりが忘れられません。1対1の関係と同様、アジアのYWCAとも、他国との関係においても、常日頃より信頼関係を築いていくことが大切だと痛感しました。

現在、YWCAで活動をする中で、静かな、でも確実な変化を感じています。それは、日本と韓国の関係性の変化です。日本YWCAは、昨年11月の総会で、「アジア・太平洋戦争の謝罪と未来に向けての決意表明文」を採択しました。これはかつて日本YWCAが侵略戦争に加担したという反省と、未来への平和に向けた決意を新たにしました。総会には韓国YWCAから3名が参加されました。韓国Yの方々は口々にこの決意表明文について高い評価をされ、まるで3人の中では重い歴史の氷の固まりが溶け始めているかのように感じました。

これまで日本Yと韓国Yで、そして両国の地域YWCA同士で地道な交流を積み重ねてきた

ことが、今形になりつつあるのではないかと思っています。決意表明文だけでは何の解決にもなりません。決意表明文を胸に誠意を持って東北アジアの人々と向き合っていけば必ず新しい平和の歩みができるかと最近感じています。今総会期はそのための安定したプログラムを実行する時だと思っています。

■万年 国を超えてつながる魅力と、世代の違う人たちがつながる魅力がYWCAにはあります。私はクリスチャンではないので、C(キリスト教基盤)に魅かれてというより、人に魅かれました。親子ほどの年の開きのあるシアとも、友人同士のように接し、自由に意見交換ができるのがYWCAのよいところではないかと思っています。

■吉村 私もキリスト者ではないのですが、クリスチャンの人たちを見ていて、この人たちの持っている強さ優しさにはキリスト教基盤があると感じる事があります。

YWCAは、憲法9条を守り生かす運動をしています。ぜひ若い人たちとも共有していきたいと思えますが、

■万年 友達や同僚にYWCAでの活動は多分わかってもらえないだろうなあと、話しづらいと感じることはあります。反対や抗議活動だけでなく、平和を築くことも活動や提案を前向きに行っていくと、もっと話しやすいかもしれません。

■侯野 私も能動的な取り組みがしたいと考えます。例えば、日本が、アジアの国と政治的に緊張関係が生じたときに、中国や韓国に行つて直接顔の見える関係を築く。そういうイニシアティブを持ちたい。世界YWCA総幹事から「平和の問題と女性の問題は深く関係しており、日本YWCAの憲法9条の取り

## 日本YWCA 第30総会期組織図

★：担当運営委員 ☆：担当理事



国際事業		国内事業
<b>国際プログラム</b> ひろしまを考える旅委員会 *ひろしまを考える旅の企画・実行 日韓ユースカンファレンス実行委員会 *日韓ユースカンファレンスの企画・実行 南京を考える旅実行委員会 *南京を考える旅の企画・実行	<b>世界YWCA関連</b> *世界YWCA関連資料の検討 *プログラムの派遣とフォローアップ *世界YWCA総会の準備	<b>地域YWCA支援委員会</b> *組織運営力向上のための研修の実施 *派遣活動(人材のリストアップ・派遣) *会員集会の企画・実施 *インターン制度の確立
★吉村千恵、神谷理恵子、木村真理子、樋口清香、福岡由里子、横山由美子		★手島千景、荒木紀子、今地裕美子、万年禮、実生律子

今後の展望をお願いします。

■万年 私の専門は組織や人材育成ですが、お互いの専門性を高め合える関係の中で、それが地域YWCAの活動にも生かせるという思いがあります。昔、自分たちが受けてきたサポートを、今度は私たちが次の世代につないでいくことが大切だと思っています。そのためにもシアの存在が大切であり、世代を超えて活発に意見を交換していきたいと思っています。

■侯野 5月には国民投票法(日本国憲法の改正手続に関する法律)が施行されようとしています。その施行を凍結し、進めないように、日本YWCAは、地域YWCAと協働して市民グ



第30総会期運営委員

ループとも一緒になって、声をあげてきています。5月3日の憲法記念日には、多くの地域YWCAが地元の憲法集会に足を運んでいます。またビジョン2015「非核・非暴力による平和を構築する」のために、例えば大阪YWCAのピースフェスティバル、札幌YWCAのピースアクション、甲府YWCAの原爆絵画展、函館YWCAのピース館、静岡YWCAのサンタの行進、名古屋YWCAのウイメンズカウンセリング、東京YWCAの「10・3 NO」

を計画していけたらと考えています。(文責・編集委員会)



わたしたちの  
「戦争責任」と  
「平和への責任」

2009年11月、日本YWCAは「アジア・太平洋戦争の謝罪と未来に向けての決意表明文」を採択した。これは私たちが世界の人人々と共に平和を構築していく再スタート宣言である。しかし、実際に会員としてどのように向き合えばよいのか、どう共有し、活動を展開していけばよいのかを考えるために、1995年に「不戦決議」を行った真宗大谷派の解放運動推進本部の僧侶、山内小夜子さんを今年の2・11集会にお招きした。

現在、大谷派は非戦を貫き処罰された僧侶の名誉回復や、平和展の開催等を行っている。山内さん自身も靖国問題に熱心に取り組み、南京が陥落した12月13日には毎年、中国の僧侶と共に現地でも平和法要を行っている。それでも平和への取り組みは「まだまだ宿題だらけ」という言葉が胸に響いた。

### 卒業生へ「YWCAパスポート」プレゼント

将来の夢の実現への手がかりとしてほしいと、日本YWCAは、今春高校を卒業する、全国35中高YWCAの160名のメンバーに「YWCAパスポート」をプレゼントしました。

仙台YWCAでは、卒業式を間近に控えた宮城学院へ伺い、中高YWCAの生徒さんたちに「YWCAパスポート」を直接手渡しました。先生方も生徒さんたちも、機会があれば仙台YWCAの活動への参加を望んでくださっていて、心強く、うれしく思いました。和やかに感謝の時を持ちました。  
(仙台YWCA 齊藤優子)



## 地域YWCA連絡先

(2010.3現在)

地域YWCA	〒	住所	TEL	FAX	ホームページ
釧路		(日本YWCAにお問い合わせ下さい)			
札幌	060-0807	札幌市北区北7条西6丁目 北海道クリスチャンセンター内	011-728-8090	兼	http://www.ywca.or.jp/~ywca0037/
函館	040-0003	函館市松陰町1-12	0138-51-5262	0138-54-9548	http://www.hakodate.ywca.or.jp/
弘前		(日本YWCAにお問い合わせ下さい)			
仙台	980-0011	仙台市青葉区上杉2-1-10	022-222-9714	022-265-9310	http://sendai.ywca.or.jp/
福島		(日本YWCAにお問い合わせ下さい)			http://www.ywca.or.jp/fukushima
浦和	330-0061	さいたま市浦和区常盤5-10-6	048-831-6448	兼	http://www.ywca.or.jp/urawa
東京	101-0062	千代田区神田駿河台1-8-11	03-3293-5421	03-3293-5570	http://www.tokyo.ywca.or.jp/
横浜	231-0023	横浜市中区山下町225	045-681-2903	045-662-0926	http://www16.ocn.ne.jp/~ywca/
湘南		(日本YWCAにお問い合わせ下さい)			http://www.ywca.or.jp/shonan
平塚	254-0811	平塚市八重咲町24-31	0463-21-1990	兼	http://www.ywca.or.jp/hiratsuka
甲府		(日本YWCAにお問い合わせ下さい)			http://www.ywca.or.jp/kofu
新潟		(日本YWCAにお問い合わせ下さい)			http://www.ywca.or.jp/niigata
静岡		(日本YWCAにお問い合わせ下さい)	054-26-1250	兼	http://www.ywca.or.jp/shizuoka
浜松		(日本YWCAにお問い合わせ下さい)		兼	http://www.ywca.or.jp/hamamatsu
名古屋	460-0004	名古屋市中区新栄町2-3	052-961-7707	052-961-7719	http://www.nagoya-ywca.or.jp/
京都	602-8019	京都市上京区室町通水上ル	075-431-0351	075-431-0352	http://kyoto.ywca.or.jp/
大阪	530-0026	大阪市北区神山町11-12	06-6361-0838	06-6361-2997	http://osaka.ywca.or.jp/
大阪YWCA千里	565-0874	吹田市古江台3-9-3	06-6872-0527	06-6872-0503	
神戸	651-0093	神戸市中央区二宮町1-12-10	078-231-6201	078-231-6692	http://www.kobe.ywca.or.jp/
広島	730-0051	広島市中区大手町4-3-10	082-241-5313	兼	http://www.ywca.or.jp/hiroshima
呉	737-0028	呉市幸町3-1	0823-21-2414	0823-21-2514	http://www.ywca.or.jp/kure
松山	790-0004	松山市大街道3-2-24	089-935-5191	兼	
福岡	810-0073	福岡市中央区舞鶴2-8-15	092-741-9251	092-712-2515	http://fukuoka.ywca.or.jp/
長崎	850-0854	長崎市銀屋町1-5 長崎銀屋町教会気付			http://www.ywca.or.jp/nagasaki
熊本	860-0862	熊本市黒髪2-27-21	096-346-3419	兼	http://www.ywca.or.jp/kumamoto
沖縄		(日本YWCAにお問い合わせ下さい)			http://www.ywca.or.jp/okinawa

### 中高YWCA

日本YWCA加盟の全国35の学校YWCAが活発に活動しています

- とわの森三愛高等学校
- 北星学園女子中学校・高等学校
- 遺愛女子中学校・高等学校
- 弘前学院聖愛中学校・高等学校
- 宮城学院中学校・高等学校
- 尚絅学院中学校・高等学校
- 山形学院高等学校
- 女子聖学院中学校・高等学校
- 東洋英和女学院中学部・高等部
- 女子学院中学校・高等学校
- 捜真女学校中学部・高等部
- フェリス学院中学校・高等学校
- 横浜共立学園中学校・高等学校
- 横浜英和女学院中学校・高等学校
- 山梨英和中学校・高等学校
- 静岡英和女学院中学校・高等学校
- 北陸学院中学校・高等学校
- 金城学院中学校・高等学校
- 同志社女子中学校・高等学校
- 同志社国際中学校・高等学校
- 大阪女学院中学校・高等学校
- 梅花中学校・高等学校
- プール学院中学校・高等学校
- 啓明学院中学校・高等学校
- 日ノ本学園中学校・高等学校
- 広島女学院中学校・高等学校
- 松山東雲中学校・高等学校
- 福岡女学院中学校・高等学校
- 活水中学校・高等学校
- ルーテル学院中学校・高等学校
- アレセイア湘南中学校・高等学校
- 明治学院高等学校
- 清水国際高等学校
- 折尾愛真高等学校
- 聖光学院高等学校

ご協力ありがとうございます  
賛助費(以下敬称略)  
赤石めぐみ  
オリーブの木暮金  
添野ふみ子 小波津喜美  
バレスチナYWCA支援募金  
名古屋YWCA  
アジア太平洋地域被災者支援募金  
東京YWCA  
ハイチ大地震被災者支援募金  
北川彌生 遠藤真理 武内富貴代  
実生律子 泰地八雲 山根くに子  
梅本弘子 西文子 江尻美穂子  
江副真理 池田美恵 田中美智子  
関直子 沖村典子 笠原美紀子  
大野綾子 飯田徹 齋藤喜子  
田中愛子  
松山東雲中学校高等学校  
福岡女学院中学校高等学校宗教部  
横浜英和学院 北陸学院高等学校  
フェリス学院中学校高等学校  
ホワイトボックス  
呉YWCA 松山YWCA  
福島YWCA 静岡YWCA  
福岡YWCA  
武内富貴代 松山YWCA  
福岡YWCA 名古屋YWCA  
国際協力相互援助  
甲府YWCA 新潟YWCA  
長崎YWCA 湘南YWCA  
クリスマス献金  
活水中学校高等学校  
日本基督教団六角橋教会  
日本基督教団阿佐ヶ谷教会  
日本キリスト教団松戸教会  
日本基督教団代々木上原教会  
日本キリスト教団静岡教会  
東京YMCA 西東京コミュニティーセンター  
YWCAグローバル基金  
横浜英和女学院中学校高等学校  
一般寄付  
ストップ子ども買春の会  
坂口和子 江尻美穂子 鈴木伶子  
匿名 (2010年2月20日現在)